



風の子 太陽の子

浜松市立相生小学校

令和4年11月2日

～♡「実りの秋」になるよう『挑戦』していこう！♡～

校長 鈴木晶子

秋の深まりを感じるこの頃です。先日の朝会では、「実りの秋」の話をしました。

まずは、**スポーツの秋**・・・運動会、スポーツ王、3部会陸上記録会、浜松市陸上大会、と、心身の健康と体力の向上を目指した活動がたくさん行われました。3年ぶりに開催された部会陸上記録会には46人の5・6年生が四ツ池陸上競技場で競技し、大活躍でした。

読書の秋・・・読書は、「心の栄養」。読書は私たちを、今まで行ったことがないところに連れて行ってくれます。主人公の気持ちにわくわくしたり、悲しみに共感したり、一緒に喜んだり。本の文字を読むということは、タブレットで字を読むこととは違った楽しみがあり、自分の考えを深めたり、広げたりすることができます。言葉から様々な想像が膨らみます。3年生は、国語科の学習でたくさん本を読んでいます。読書週間には、読み聞かせボランティアの皆さんが落語、怪談、大型絵本の読み聞かせなどをして、読書祭りを行ってくださっています。秋の夜長はテレビやYouTubeなどの時間を減らし、たくさん読書をするといいですね。

収穫の秋・・・相生小の金木犀の花の香が漂い、心を穏やかにしてくれます。仲良し学級のみなさんが朝顔の種をプレゼントしてくれました。次は、サツマイモ祭りを計画中です。1年生は、どんぐりを拾って楽しいおもちゃを作っています。2年生が企画して1年生を招待した『おもちゃランド』はわくわくするものばかりでした。

芸術の秋・・・放課後になると、金管バンド部のすてきな演奏が聴こえてきます。大好きな『相生行進曲』が流れると何だか勇気が湧いてきます。4年生は、新しく都田にできたサーラ音楽ホールで行われる『浜松市音楽科研究発表会』に出演します。楽しみです。

皆さん一人一人が「実りの秋」にしていくには、『挑戦』することが大切です。やってみなければ始まりません。挑戦して、失敗して悔しい思いもいっぱいして、少しずつ強い自分になっていくのです。一生懸命頑張っているとき、楽しいとき、苦しいとき、自分がどんどん成長し、『自分になりたい風の子 太陽の子』に近付いていきます。家族や先生たち、地域の皆さんは、挑戦する相生っ子の応援団です。それから、**挑戦する友達に『温かいエール』を、笑顔で送っていきましょうね。**相生小学校の全員が、いろいろな秋を経験して「実りの秋」にしていきたいと思います。



1年生 ～秋を見つけに～



読書祭り ～落語にふれて～



4年生 ～美しい声を出そう～



温かく
かかわる力



自分を
高める力



あきらめずに
挑戦する力



夢をもち
つなげる力



浜松市立相生小学校
キャリア教育を
推進しています。